

四日市市障害者福祉センター
からのお知らせ

WITH

～ウィズ・障害のある人と共に～

ICTの活用で社会参加の広がりを

川越町在住の柳田幸樹さんとオリィ研究所の常田剛生さんを講師に招き、オンラインセミナー「分身ロボット“OriHime”と一緒に～広がる社会参加～」を開催しました。

“OriHime”は、オリィ研究所が開発した、遠隔で動かすことができるロボットです。セミナーでは、OriHimeを使ってカフェや本屋、デパートの販売員に挑戦した時の様子を紹介してもらいました。「普段の翻訳の仕事と違い、チームで働く経験が出来たのが新鮮だった」「ありがとうという言葉がとても嬉しかった」と柳田さん。常田さんからは「OriHimeは、人の心を乗せて行きたいところへ行くことができるロボット」と想いを聞かせていただきました。

▲柳田さん(手前)と常田さん
最後に二人から「ICTを活用することで自分が本来持っている良さを活かし、選択の幅を広げることができる。もっと皆さんにも知ってもらいたい」とメッセージをいただきました。

障害者福祉センターも、障害のある人の自立と社会参加を支援するため、これからもICTの活用について取り組んでいきたいと思います。



オリィメ
▲OriHime

障害者デイサービス 令和3年度 利用者募集 (18歳以上の身体障害者手帳をお持ちの人が対象です)

創作的活動 遠隔コミュニケーションでつながろう ～はじめてのZoom講座～

開催時期：春期(5～7月)、秋期(9～11月)、冬期(12月～2月)と全期合同交流会(3月)の第2・4金曜日 10時～11時
*全4回の講座を3期に分けて募集します。開催日程はお問合せください。

対象：スマホ・タブレット・カメラ付パソコンのいずれかをお持ちの人。または近く購入予定の人。

定員：各期3名(応募者多数の場合は、新規利用者を優先し抽選します) 手話通訳・要約筆記あり

送迎：自家用車や公共交通機関での自主通所が難しい人は相談させていただきます。

希望者が多い場合はご希望に添えないことがあります。

場所：四日市市総合会館3階 講座申込締切：3月8日(月)

事前説明会：3月8日(月) 10時～11時 四日市市総合会館3階 社会適応訓練室 *申し込み制

【問い合わせ・申し込み先】

四日市市障害者福祉センター 電話：354-8275 ファクス：354-8426 E-mail：y-with@m3.cty-net.ne.jp

寄付者のメッセージ

アイトム建設株式会社様から



弊社は、以前から共栄作業所と協働事業を行っているご縁もあり、今般、四日市市社会福祉協議会さんが運営する障害者施設7カ所に、施設運営に必要な物品を寄贈させていただきました。

「地域への恩返し」を理念とする弊社にとって、こうした社会貢献活動は特別な事ではなく、これらの活動を通じ、みなさんが笑顔になっていただく事が喜びであります。これからもこのつながりを大切に地域に貢献させていただく所存であります。

◀手織り機(寄贈物品の一部)

心あたたまご寄付ありがとうございました

- ・須藤清磨様
- ・壺阪智美様
- ・平井静代様
- ・山添喬二様
- ・アイトム建設株式会社様
- ・(株)リョウエイ
- ・ダイヤゴルフガーデン様
- ・光念寺様
- ・桜地区民生委員児童委員協議会様
- ・水沢茶商人会様
- ・鈴鹿農業協同組合様
- ・歩好会様
- ・八郷まちづくり委員会様



コピー・プリンター・パソコン
ネットワークなど
システム機器の導入は、
三重県下納入実績豊富な
弊社にご相談ください。



いつも時代の前にいる。

トータルオフィスプランナーとしてシステムを構築しています!

YJC

株式会社 四日市事務機センター

〒510-0891 三重県四日市市日永西 2-18-7

tel.059-346-5411

四日市事務機センター

検索

http://www.yj-c.co.jp

検索

yjc@yj-c.co.jp



広告

社協だより
かけはし

発行

社会福祉法人

四日市市社会福祉協議会

四日市市諏訪町2番2号

(四日市市総合会館内)

電話 059-354-8265

ファクス 059-354-6486

E-mail y-syakyo@m5.cty-net.ne.jp

令和3年2月20日発行

第152号

特集

「生活支援コーディネーター」って何をする人?

～地域の橋渡し役～

P2と併せてご覧ください



『よってこ家』のカフェサロン



「社協だより かけはし」は、赤い羽根共同募金配分金を財源として作成しています。

四日市市社会福祉協議会では、「誰もが安心して暮らしつづけることができる『福祉のまちづくり』」を目指して、地域の皆さんと協力しながら地域での福祉活動を進めていきます。

四日市市社会福祉協議会ホームページ <https://yokkaichi-shakyo.or.jp/>

四日市市社会福祉協議会

検索



特集 「生活支援コーディネーター」って何をする人？

私たちが住んでいる地域には、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援など、住民の皆さんが安心して暮らすための仕組みがあり、様々な専門職が活動しています。その中で、生活支援コーディネーターは、住民同士や住民と地域の専門職をつなぐ『橋渡し役』を担っています。



地域の「場」を活かした地域の「わ」づくり

地域の「場」を活かしてモデルとなる集まりの場づくりを進め、福祉関係者と連携しながら市内に地域の「わ」を広げていけるよう、アプローチしています。『よってこ家』（富田地区）では、誰もが気軽に立ち寄ることができるカフェサロンを市内でいち早く立ち上げました。その中で蓄積したノウハウを共有してもらうことで、他地区でのカフェサロンの立ち上げを後押ししています。

◀『よってこ家』のカフェサロン



地域に合った集まりの場や見守りの仕組みづくり

福祉関係者や行政とともに、住民同士の集まりの場や見守りの仕組みづくりに取り組んでいます。

三重地区では、坂部が丘四丁目にお住まいの高齢者宅等を訪問するなど、実際に地域を歩いたり、お話を聞かせていただいたりすることで、地域の強みやニーズの発見につなげています。

◀住民同士の交流の場（坂部が丘四丁目クリスマス会）



住民主体活動※のサポート

住民主体活動の立ち上げや運営を支援しています。運営委員会に出席し、今後の方向性や、活動の課題について一緒に考えています。活動の参考としていただけるよう、先進事例や他地区の取り組みの把握にも努めています。

※住民主体活動・・・地域住民が、自分たちの手で「地域をよくしたい」という思いから、住民相互の助け合いとして行うもので、ふだんのくらしのしあわせを支えている活動です。

◀住民主体活動「さろんde志氏我野運営委員会（羽津地区）」での生活支援コーディネーター



地域や福祉を学ぶ機会づくり

市内の地区社会福祉協議会やボランティア団体が企画する勉強会に講師としてお伺いしています。

最近では、コロナ禍における新たなつながり方として、オンラインを活用した取り組みを勉強会のテーマに加えています。住民の皆さんから地域のことを教えていただき、ともに学ぶことができる機会となっています。

◀神前地区社会福祉協議会の勉強会



ひとりひとりへの支援をもとに制度の狭間に取り組む

ひとりひとりへの支援をもとに、地域の課題や既存の社会資源では対応できない課題の解決を図っています。

例えば、身寄りがなく家族の支援が受けられない人や入院・入所中に緊急時の対応が必要な人が、医療や福祉のサービスをスムーズに利用できるよう、新しい仕組みづくりに取り組んでいます。すぐに解決することは難しいですが、住民の皆さんと関係機関と課題を共有しながら解決の糸口を探っています。

◀家庭訪問してお話を伺う生活支援コーディネーター

生活支援コーディネーターは、地域の様々な形の『住民主体の助け合い活動』について、一緒に考え応援したいと考えています。ぜひ皆さんの想いを聞かせてください。

赤い羽根共同募金運動へのご協力、ありがとうございます！

皆さまのあたたかいご理解・ご協力により

37,645,532円（1月29日時点）の募金をいただいております

赤い羽根共同募金を財源とする福祉事業の一部を紹介します



運動期間 令和3年 10月1日▶3月31日



▲福祉教育の推進
（ボッチャ選手との交流）



▲地区社会福祉協議会の事業
（桜ふれあいまつり）



▲福祉ボランティアのまちづくり事業
（学生のボランティア活動の場）

【問い合わせ先】 四日市市共同募金委員会（四日市市社会福祉協議会 総務課内）

電話：354-8265 ファクス：354-6486

四日市市母子・父子福祉センター 今年度の事業紹介

【技能習得講座】9月から2月にかけて、「パソコン講座」を実施しました。受講生の皆さんのスキルアップにつながるよう、個人に合わせた内容で受講していただきました。

【交流事業】親子で楽しい時間を過ごしていただけるよう、交流事業を実施しました。10月の「親子デイキャンプ」では、ピザ作りやカヌー体験を、12月の「親子飾り巻き寿司教室」では、かわいいサンタさんの巻き寿司作りを行いました。



▲親子飾り巻き寿司教室の様子

【問い合わせ先】
四日市市母子・父子福祉センター
電話・ファクス：354-8277
E-mail：b-f.center@yokkaichi-shakyo.or.jp

障害者自立支援施設たんぽぽ 紙すきはがきはいかがですか？

たんぽぽでは、牛乳パックをリサイクルし、紙すきはがきを手作りしています。利用者は、そのはがきに貼り絵をしたり言葉を添えたりして、日頃お世話になっている方に感謝の気持ちを伝えています。

皆さんも、コロナ禍で会えない方やお世話になっている方に、はがきを送ってみませんか。

紙すきはがきは、四日市市総合会館1階のよっかいち福祉の店やたんぽぽで販売しています。（5枚100円）



▲紙すきはがきを作る様子

【問い合わせ先】
障害者自立支援施設たんぽぽ
電話：322-5567 ファクス：321-8561

「四日市ボランティアキャンペーン ～カタチいろいろボランティア～」開催

令和3年3月4日（金）～31日（金）はボランティアキャンペーン期間です。

期間中は様々なイベントを実施します。ボランティア活動に興味のある人はぜひご参加ください。

※状況により中止の場合もあります。ご了承ください。

＜ボランティア活動を知ろう＞

市内で活躍するボランティア団体の活動についてパネルで紹介します。

日時：令和3年3月4日（金）～7日（日）
10：00～16：00
※4日（金）のみ13：00～16：00

場所：四日市市文化会館 展示棟2階
第1展示室C・D

＜ボランティア活動を体験しよう＞

障害者スポーツや花木の植樹などのボランティア活動に参加できます。詳しい内容・日時などはボランティアセンターにお問い合わせください。

【問い合わせ先】

四日市市ボランティアセンター
電話：354-8144 ファクス：354-6486
E-mail：y-vc@m3.cty-net.ne.jp



新任職員紹介 Part3 第150号から3号にわたって、令和2年度から入職した新任職員を紹介しています。

福祉支援課 障害者自立支援施設共栄作業所
山田 隼也

以前は一般企業で働いていましたが、福祉に関心があり昨年4月に入職しました。配属先の共栄作業所では先輩方にご指導をいただきながら、少しでも利用者さんに寄り添える支援を目指して頑張っています。昨年は私も父になり、公私ともにさらに充実した日々をおくりたいと思っています。



令和2年度新任職員紹介は今号で終わりです。新任職員6名を含め、今後とも四日市市社会福祉協議会をよろしくお願いいたします。

総務課 法人運営係
田中 利奈

広報事業を中心に、法人運営に関する業務に携わっています。「どのような紙面にすれば、より多くの方に地域の福祉活動を知っていただくことができるだろうか？」と考えながら広報紙作成に取り組んでいます。今後も、取材を通して地域の皆さんとお会いできる機会を楽しみにしています。

